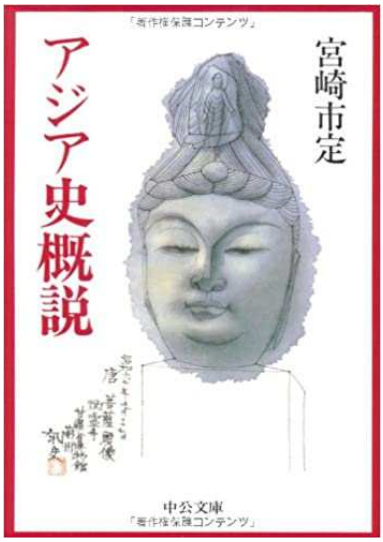
その本はそこに　　読書案内 34　　～ アジアの楽しみ ・ 建築とか ～

アジア史概説

宮崎市定　（中公文庫 1987・学生社 1973）　❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖



■京大東洋史を支え続けてきた宮崎定市さん。難しいことを素人でもわかるように文章で書いていて、抜群に面白い！宮崎史観は交通史観らしいのですが、このアジア史では、西アジア・東アジア・南アジア東南アジア・日本を「交通」という紐帯で緊密に結びつけています。ヨーロッパの歴史はあらゆる方面から検討され、アジア史の研究は、はるかに立ち遅れているため、整理排列して、相互の関係をたどり、アジア史の世界的意義研究の問題を一歩進めたい、としています。

■西アジア（ﾄﾙｺ、ｻｳｼﾞｱﾗﾋﾞｱ、ｲﾗﾝ）南アジア(ｲﾝﾄﾞ)東アジア(中国)、日本、東南アジア(ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ)を中心とした歴史を、欧州等の影響を交えて。ジャワ直立原人・北京原人～1973 ベトナム戦争パリ会議停戦協定まで。文庫 500 ﾍﾟｰｼﾞ。こちらの本を楽しく読んでいただければいいです。

❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖